

教育委員会総務課

【総括】

総務課においては、教育委員会（定例会及び臨時）の開催や事務局の運営など、教育行政全般の事務の管理・執行等を行いました。

また、小学校8校、中学校5校、幼稚園1園の施設の維持管理や修繕等を行うとともに、学校備品の整備を行い、安全・安心な学校施設の管理運営、教育環境の充実に努めました。

【新たに実施した事業】

今年度事業として、劣化・破損した小中学校の各室カーテンの取り替えや、また年月の経過に伴い手入れが不可能となった危険木の伐採や剪定を行い、安心して快適な教育環境の整備に努めました。

【予算執行を伴わない事業】

市長と教育長、教育委員で構成する鳥羽市総合教育会議を開催し、本市の教育行政に係る重要な事項や課題等を共有し、意見交換を行いました。また、児童・生徒数の減少が進む小中学校の地域に向いて懇談を行い、今後の学校の在り方等について保護者の意見を聴取しました。

（款） 9 教育費

（項） 1 教育総務費

（目） 1 教育委員会費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
2,701	2,658						2,658

事業区分	1 教育委員会運営管理経費	2,658 千円	事項別明細書 P 164 ~									
教育委員会運営管理業務		予算現額	2,701 千円									
		決算額	2,658 千円									
		翌年度繰越額	0 千円									
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	2,659 千円									
<p>教育委員会（定例会11回、臨時1回）を開催し、例規を含む教育行政に関する議案等の審議を行いました。また、教育委員会の活動を広く市民に周知するため、教育委員会広報誌「教育委員会だより」の編集・発行を行いました。</p> <p>○主な経費</p> <table border="0"> <tr> <td>委員報酬</td> <td>教育委員報酬（4名分）</td> <td>2,400 千円</td> </tr> <tr> <td>印刷製本費</td> <td>「教育委員会だより」印刷</td> <td>167 千円</td> </tr> <tr> <td>会費等負担金</td> <td>県市町教育委員会連絡協議会会費</td> <td>66 千円</td> </tr> </table>				委員報酬	教育委員報酬（4名分）	2,400 千円	印刷製本費	「教育委員会だより」印刷	167 千円	会費等負担金	県市町教育委員会連絡協議会会費	66 千円
委員報酬	教育委員報酬（4名分）	2,400 千円										
印刷製本費	「教育委員会だより」印刷	167 千円										
会費等負担金	県市町教育委員会連絡協議会会費	66 千円										

(款) 9 教育費

(項) 1 教育総務費

(目) 2 事務局費

(単位:千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
128,507	128,156						128,156

事業区分		1 事務局給与等管理費	128,156 千円	事項別明細書 P 164 ~
事務局運營業務			予算現額	128,507 千円
			決算額	128,156 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	138,488 千円	
<p>教育委員会事務局職員の人事、給与、福利厚生等の管理を行うとともに、予算・決算の調整や教育行政全般に関する事務処理など事務局内の調整を行い、効率的な事務の執行に努めました。</p> <p>○主な経費</p> <p>職員人件費 121,504 千円 (うち退職手当(2名分) 30,784千円)</p> <p>家賃及び共益費 事務所賃借料 4,832 千円</p> <p>会費等負担金</p> <p>全国教育長協議会年間会費 14 千円</p> <p>県市町教育長会負担金 27 千円</p> <p>東海北陸都市教育長協議会会費負担金 5 千円</p> <p>東海北陸都市教育長協議会総会・研究大会参加負担金 8 千円</p>				

(款) 9 教育費

(項) 1 教育総務費

(目) 3 教育振興費

(単位:千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
400	350						350

事業区分		2 教育振興事業	350 千円	事項別明細書 P 166 ~
教育振興管理事業			予算現額	400 千円
			決算額	350 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	0 千円	
<p>12月に開催された「2018高校生地域創生造サミット」(三重県教育委員会主催)において、本市の課題をテーマに全国の高校生がその解決策等を考えるフィールドワークを実施するにあたり必要となる経費の一部を支出し、教育振興に努めました。</p> <p>○主な経費</p> <p>報償費 93 千円</p>				

教育振興管理事業	
委託料 高校生地域創造サミット送迎バス運転業務委託	119 千円

(款) 9 教育費

(項) 2 小学校費

(目) 1 学校管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
146,470	112,407	6,826	1,440	13,400	6,014	1,934	82,793

事業区分	1 小学校給与等管理費		112,407 千円	事項別明細書 P 168 ~																																		
	小学校管理業務	予算現額	124,056 千円																																			
		決算額	92,128 千円																																			
		翌年度繰越額	29,823 千円																																			
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	87,445 千円																																			
<p>小学校校舎等の補修工事等を行うとともに、校務用パソコンなど小学校で使用する一般管理備品を購入しました。また、老朽、破損した各室カーテンの取り替えや、年月の経過に伴い手入れが不可能となった危険木の伐採や剪定を行うことで、安全・安心、快適な教育環境の整備に努めました。</p> <p>○主な経費</p> <p>委託料</p> <table border="0"> <tr><td>鳥羽小学校スクールバス運転業務委託</td><td>3,370 千円</td></tr> <tr><td>弘道小学校バス運転業務委託</td><td>1,445 千円</td></tr> <tr><td>エレベーター保守点検業務（鳥羽小・弘道小・加茂小）</td><td>1,730 千円</td></tr> <tr><td>鳥羽市学校施設危険木伐採業務委託</td><td>1,441 千円</td></tr> <tr><td>学校管理警備業務委託</td><td>583 千円</td></tr> <tr><td>小中学校施設冷媒漏洩定期点検業務委託</td><td>301 千円</td></tr> <tr><td>プールろ過装置保守点検業務（鳥羽小・加茂小）</td><td>108 千円</td></tr> <tr><td>旧坂手小・旧桃取小・弘道小旧旭分校用地除草業務委託</td><td>175 千円</td></tr> <tr><td>鳥羽市小中学校等遊具保守点検業務委託</td><td>173 千円</td></tr> <tr><td>弘道小学校グラウンド スズメバチ駆除</td><td>32 千円</td></tr> </table> <p>工事請負費</p> <table border="0"> <tr><td>神島小中学校教員住宅改修工事</td><td>2,146 千円</td></tr> <tr><td>菅島小学校コンクリート塀改修工事</td><td>2,678 千円</td></tr> <tr><td>神島教員住宅擁壁補修工事</td><td>1,351 千円</td></tr> <tr><td>安楽島小学校床等改修工事</td><td>1,090 千円</td></tr> <tr><td>答志小学校理科室上下黒板改修工事</td><td>1,188 千円</td></tr> <tr><td>安楽島小学校教室天井漏水修繕工事 他11件</td><td>3,747 千円</td></tr> </table> <p>備品購入費</p> <table border="0"> <tr><td>学校管理備品等</td><td>3,566 千円</td></tr> </table>					鳥羽小学校スクールバス運転業務委託	3,370 千円	弘道小学校バス運転業務委託	1,445 千円	エレベーター保守点検業務（鳥羽小・弘道小・加茂小）	1,730 千円	鳥羽市学校施設危険木伐採業務委託	1,441 千円	学校管理警備業務委託	583 千円	小中学校施設冷媒漏洩定期点検業務委託	301 千円	プールろ過装置保守点検業務（鳥羽小・加茂小）	108 千円	旧坂手小・旧桃取小・弘道小旧旭分校用地除草業務委託	175 千円	鳥羽市小中学校等遊具保守点検業務委託	173 千円	弘道小学校グラウンド スズメバチ駆除	32 千円	神島小中学校教員住宅改修工事	2,146 千円	菅島小学校コンクリート塀改修工事	2,678 千円	神島教員住宅擁壁補修工事	1,351 千円	安楽島小学校床等改修工事	1,090 千円	答志小学校理科室上下黒板改修工事	1,188 千円	安楽島小学校教室天井漏水修繕工事 他11件	3,747 千円	学校管理備品等	3,566 千円
鳥羽小学校スクールバス運転業務委託	3,370 千円																																					
弘道小学校バス運転業務委託	1,445 千円																																					
エレベーター保守点検業務（鳥羽小・弘道小・加茂小）	1,730 千円																																					
鳥羽市学校施設危険木伐採業務委託	1,441 千円																																					
学校管理警備業務委託	583 千円																																					
小中学校施設冷媒漏洩定期点検業務委託	301 千円																																					
プールろ過装置保守点検業務（鳥羽小・加茂小）	108 千円																																					
旧坂手小・旧桃取小・弘道小旧旭分校用地除草業務委託	175 千円																																					
鳥羽市小中学校等遊具保守点検業務委託	173 千円																																					
弘道小学校グラウンド スズメバチ駆除	32 千円																																					
神島小中学校教員住宅改修工事	2,146 千円																																					
菅島小学校コンクリート塀改修工事	2,678 千円																																					
神島教員住宅擁壁補修工事	1,351 千円																																					
安楽島小学校床等改修工事	1,090 千円																																					
答志小学校理科室上下黒板改修工事	1,188 千円																																					
安楽島小学校教室天井漏水修繕工事 他11件	3,747 千円																																					
学校管理備品等	3,566 千円																																					

小学校管理業務			
○主な財源			
県支出金	みえ森と緑の県民税市町交付金	1,440	千円
繰入金	ふるさと創生基金	6,014	千円
小学校管理業務（繰越明許）		予算現額	22,414 千円
		決算額	20,279 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	0 千円
答志小学校において、災害時における児童等のための応急避難場所として必要な機能が発揮できるよう、建築非構造部材である外壁の剥離・落下防止改修工事を行いました。			
○主な経費			
工事請負費	答志小学校外壁改修工事	20,279	千円
○主な財源			
国庫支出金	学校施設環境改善交付金	6,826	千円
地方債	教育施設整備事業債	13,400	千円

(款) 9 教育費

(項) 3 中学校費

(目) 1 学校管理費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
122,141	93,795	4,544	1,691	8,900	17,525	1,420	59,715

事業区分	1 中学校給与等管理費	93,795 千円	事項別明細書 P 170 ~
中学校管理業務		予算現額	103,789 千円
		決算額	80,296 千円
		翌年度繰越額	22,232 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	51,334 千円
中学校校舎等の補修工事等を行うとともに、校務用パソコンなど中学校で使用する一般管理備品を購入しました。また、老化、破損した各室カーテンの取り替えや、年月の経過に伴い手入れが不可能となった危険木の伐採や剪定を行うことで安全・安心、快適な教育環境の整備に努めました。			
○主な経費			
委託料			
	鳥羽東中学校スクールバス運転業務委託	3,533	千円
	鳥羽市学校施設危険木伐採業務委託	1,691	千円
	学校管理警備業務委託	350	千円
	鳥羽東中学校エレベーター保守	577	千円
	微量PCB分析業務	181	千円
	小中学校施設冷媒漏洩定期点検業務委託	131	千円
	鳥羽市小中学校等遊具保守点検業務委託	108	千円

中学校管理業務		
旧鏡浦中学校用地除草作業		58 千円
県中学校総合体育大会運転業務		54 千円
工事請負費		
神島小中学校教員住宅改修工事		2,146 千円
神島職員住宅擁壁補修工事		1,351 千円
加茂中学校放送設備改修工事		2,052 千円
加茂中学校体育館建具開閉装置等改修工事		3,738 千円
神島小中学校体育館建具開閉装置改修工事		3,268 千円
鳥羽東中学校床等改修工事		1,134 千円
加茂中学校職員女子トイレ改修工事 他15件		5,947 千円
土地建物購入費		
長岡中学校用地購入		6,388 千円
備品購入費		
学校管理備品等		4,075 千円
○主な財源		
県支出金	みえ森と緑の県民税市町交付金	1,691 千円
繰入金	ふるさと創生基金	17,525 千円
中学校管理業務（繰越明許）	予算現額	18,352 千円
	決算額	13,499 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 0 千円
長岡中学校において、災害時における生徒等のための応急避難場所として必要な機能が発揮できるよう、建築非構造部材である外壁の剥離・落下防止改修工事を行いました。		
○主な経費		
工事請負費	長岡中学校外壁改修工事	13,499 千円
○主な財源		
国庫支出金	学校施設環境改善交付金	4,544 千円
地方債	教育施設整備事業債	8,900 千円

(款) 9 教育費

(項) 4 幼稚園費

(目) 1 幼稚園費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
56,842	52,572	475	475	5,200	2,791	2,268	41,363

事業区分		1 幼稚園給与等管理費	52,572 千円	事項別明細書 P 174 ~
幼稚園管理業務	予算現額		56,842 千円	
	決算額		52,572 千円	
	翌年度繰越額		3,200 千円	
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	48,985 千円	

幼稚園管理業務

幼稚園園舎等の補修工事等を行うとともに、幼稚園で使用する一般管理備品を購入し、安心・安全な幼稚園施設の管理運営を行いました。

本年度における幼稚園保育の状況は下記のとおりです。

【幼稚園保育】

	3歳児	4歳児	5歳児	計
園児数（平成31年3月時点）	12名	17名	14名	43名

【預かり保育】

・登録園児数 28名 ・延べ開園日数 216日 ・延べ利用園児 1,558名

○主な経費

委託料

かもめ幼稚園バス運転業務委託 2,332 千円
 学校管理警備業務委託 117 千円
 鳥羽市小中学校等遊具保守点検業務委託 22 千円

工事請負費

かもめ幼稚園保育室屋上防水改修工事 他2件 5,768 千円

備品購入費

学校管理備品等 300 千円

会費等負担金

全国国公立幼稚園・こども園長会負担金 6 千円
 三重県国公立幼稚園・こども園長会負担金 7 千円
 東海北陸国公立幼稚園・こども園長会負担金 1 千円
 三重県国公立幼稚園・こども園長会会費 10 千円
 三重県特別支援教育研究会会費（幼稚園分） 3 千円
 鳥羽志摩地区幼稚園教育研究会負担金 10 千円
 全国国公立幼稚園・こども園教育研究協議会参加負担金 5 千円
 甲種防火管理新規講習受講料 7 千円

補助金

幼稚園給食費補助金 559 千円

○主な財源

国庫支出金 子ども・子育て支援交付金 475 千円
 県支出金 地域子ども・子育て支援事業費補助金 475 千円
 繰入金 ふるさと創生基金 2,791 千円
 地方債 教育施設整備事業債 5,200 千円

学 校 教 育 課

【総括】

学校教育課では児童生徒の学力の向上、特別支援教育の推進、学校人権教育の充実、郷土学習の推進、学校防災・減災教育の推進、活力ある学校づくりの推進を事業の柱として事業展開を行いました。

経済的、地理的要因により就学に支障をきたす児童生徒の保護者に対し、様々な補助や扶助を行い、すべての児童生徒が等しく就学できる環境整備に努めました。

【新たに実施した事業】

国際観光文化都市である鳥羽市において、児童・生徒の英語への親しみや興味、関心を引き出すとともに、積極的に英語でコミュニケーションを図る力を育てるため、小学校と中学校において、英検 Jr と英検を実施しました。

国際観光文化都市に資する人づくり及び鳥羽の将来を担う子どもたちの国際的なコミュニケーション力の育成を目指すため、加茂小学校を英語モデルスクールに指定し、市内小中学校担当者とともに外国語活動の授業づくりのための研修やイングリッシュキャンプを行いました。

寝屋子の島留学事業については、答志中学校区をモデル地区とし離島留学の実施に向け、研修会の開催や、実施委員会との協議、打合せを行い、留学生を受け入れるためのPR活動を実施しました。平成30年度から家族留学1組を、令和元年度からは島親留学2名を受け入れました。

【予算執行を伴わない事業】

市内に3名配置されている栄養教諭（県費負担教職員）が作成する毎月の給食献立について協議、検討を行ったほか、食育と旬でおいしい地物を食する地産地消の推進を図るために、給食調整会議を12回実施し、安心安全な学校給食の提供に努めました。また、給食調理を行わない夏休みに衛生管理講習会を開催しました。

鳥羽志摩の中学3年生の高校進学に係る修学支援として、御木本奨学金の申請、交付等の事務手続きに協力しました。

鳥羽志摩歯科医師会が主催する歯の衛生週間事業「よい歯のコンクール」に係る審査に協力し、平成29年度からは10月のひだまりフェスタ内で鳥羽市の児童生徒の表彰式を行いました。

（款） 2 総務費

（項） 1 総務管理費

（目） 6 企画費

（単位：千円）

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
272	153				153		0

事業区分	3 友好都市提携事業	153 千円	事項別明細書	P 58 ~
	友好都市提携事業	予算現額	272 千円	
		決算額	153 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
	まちづくりの目標 1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	164 千円	
	IT機器（スカイプ）を活用し、島っ子ガイドを活用した神島の紹介や冬の母子小学校周辺の			

友好都市提携事業

雪景色の模様などを交流しました。また、神島小学校が三田市立母子小学校4, 5, 6年生児童6名を受け入れ交流を行う予定でしたが、荒天のため実施できませんでした。日程を再調整しましたがうまくいかず中止となりましたが、次年度に再度実施する方向で検討しました。

この交流事業において、子どもたちが自分の住むまちの特性や素晴らしさを学ぶことにより郷土愛の育成が図られました。また、神島小学校の教職員が母子小学校と学校視察・交流することにより指導方法等を学び合い、子どもたちの指導に生かすことができました。

◆交流実施校

神島小学校⇄母子小学校

○主な財源

繰入金 ふるさと創生基金繰入金 153千円

○主な経費

旅費 148千円

(款) 9 教育費

(項) 1 教育総務費

(目) 2 事務局費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,945	1,945					102	1,843

事業区分

1 事務局給与等管理費

1,945 千円 事項別明細書 P 164 ~

事務局運營業務		予算現額	1,945 千円
		決算額	1,945 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	2,124 千円

人員不足のため引き続き事務補助として臨時職員を1名配置しました。

○主な経費

臨時職員1名分賃金 1,945千円

○任用期間

平成30年4月9日～平成31年3月31日

(款) 9 教育費

(項) 1 教育総務費

(目) 3 教育振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
58,559	53,482	2,391	2,491	5,100	3,180	4,417	35,903

心身障がい児就学指導事業	予算現額	37 千円
	決算額	30 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 24 千円

心身障がい児就学指導委員会（医師、教員、保育士等10名で構成）を年間8回開催し、新年度に小・中学校に入学予定の特別な支援を必要とする幼児・児童の保護者に対して適切な就学指導を行いました。

平成30年度 指導対象幼児 9名 児童 8名

○主な経費

就学指導委員会報償費 30千円

教育支援センター事業	予算現額	1,173 千円
	決算額	1,138 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 967 千円

様々な理由により不登校など学校生活に不適應な状況を示す児童生徒の実態に即した指導、支援を行い、児童生徒の自立支援を行うため教育支援センターHARPに専任指導員2名を配置し通級している児童生徒へ生活指導や学習支援などを行いました。

また、学校への定期的な訪問を行い集団不適應を示したり不登校傾向にある児童生徒に対し支援を行いました。

【通級生内訳】

	H29			H30		
	男子	女子	合計	男子	女子	合計
小5	0	0	0	0	0	0
小6	1	1	2	1	0	1
中1	0	0	0	0	0	0
中2	1	0	1	0	0	0
中3	0	0	0	1	0	1
合計	2	1	3	2	0	2

【相談の状況】

【単位：件】

相談件数内訳	H29		H30		
	電話	個別面談	電話	個別面談	
対象者内訳	小学生	242	362	244	289
	中学生	125	251	148	340
	高校生、その他	4	24	18	74
	計	371	637	410	703
相談内容内訳	不登校	272	295	160	216
	集団不適應	48	189	98	163
	友達関係	4	13	10	13
	問題行動	2	8	0	1
	心身障がい	0	5	1	6
	その他	45	127	141	304
	計	371	637	410	703

特別支援教育支援員事業	予算現額	26,080 千円
	決算額	24,544 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 23,812 千円

特別支援教育支援員事業

市内小中学校に在籍する様々な障がいのある児童生徒や特別な支援を必要とする児童生徒を適切に支援するために、特別支援教育支援員21名を学校に配置し、学校における日常活動の介助や学習活動等のサポートを行うことにより、児童生徒の自立に向けて支援を行いました。

また、各校に配置されている支援員への研修会を開催し、支援員の資質の向上を図りました。

◆支援員配置校

小学校：鳥羽小(4名)、答志小(2名)、菅島小(1名)、加茂小(2名)、安楽島小(4名)
鏡浦小(1名)、弘道小(1名)

中学校：鳥羽東中(3名)、神島中(1名)、加茂中(1名)、長岡中(1名)

○主な経費

支援員賃金 24,192千円

児童生徒支援事業	予算現額	1,980千円
	決算額	1,851千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 1,973千円

子どもたちが心にゆとりをもって学校生活を送るため、気軽に悩み等を相談できるよう心の教室相談員4名を学校に配置しました。授業や休み時間などいろいろな状況での子どもの様子を観察し、積極的に子どもと会話を行うことにより人間関係を構築し、相談にのったり話し相手をしたりして子どもの心の安定に努めました。また、相談内容については担任に報告し、今後の指導の方向性を統一していくようにしました。

◆心の教室相談員配置校

安楽島小(1名)、鏡浦小(1名)、鳥羽東中(1名)、長岡中(1名)

○主な財源

繰入金 ふるさと創生基金繰入金 1,831千円

○主な経費

心の教室相談員報償費 1,831千円

外国人英語指導業務委託事業	予算現額	9,332千円
	決算額	9,331千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 9,331千円

かもめ幼稚園及び市内小中学校に外国人英語指導助手2名を派遣し、外国語指導の補助や子どもたちとの触れ合いにおいて園児や児童生徒のコミュニケーション能力の向上と国際感覚の育成を図りました。

○主な財源 三重県市町村振興協会市町村交付金 5,423千円

○主な経費 外国人英語指導業務委託料 9,331千円
(債務負担 H29～H31年度 21,773千円)

特別支援教育体制整備事業		予算現額	150 千円
		決算額	60 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	0 千円
<p>発達障がいを含むすべての障がいのある児童生徒の特別支援教育を総合的に推進するため、それらに関する専門的知識・経験を有する巡回相談員を派遣し、当該校の教員等に支援の必要な児童生徒に対する指導内容や指導方法に関する助言を行いました。</p> <p>また、途切れのない支援体制の構築を目指した保育所・幼稚園と小学校、小学校と中学校との引き継ぎ会において児童生徒に対する個別の教育支援計画や指導計画の作成に向けた助言を行いました。</p> <p>◆平成30年度巡回相談回数 (支援を要する児童生徒数) 小学校 10回 (12人) 中学校 2回 (2人)</p> <p>◆教員対象研修会 2回開催</p>			
英語検定チャレンジ事業		予算現額	942 千円
		決算額	707 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	0 千円
<p>国際観光文化都市である鳥羽市において、児童・生徒の英語への親しみや興味、関心を引き出すとともに、積極的に英語でコミュニケーションを図る力を育てるため、小学校と中学校において、英検Jrと英検を実施しました。</p> <p>◆英検Jr 小学生 146人 (102千円) ◆英検 中学生 237人 (475千円)</p> <p>○主な経費 需用費 (教材) 130千円</p>			

事業区分	2 教育振興事業		10,176 千円	事項別明細書 P 166 ~
	児童生徒書き初め大会事業		予算現額	46 千円
			決算額	36 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	34 千円	
<p>市内小中学校の児童生徒の普段の学習の成果を発表するための機会を提供するとともに、伝統文化である「書道」の伝承及び底辺の拡大を図るため書き初め作品展を実施しました。</p> <p>◆作品出展数 小学校全8校 511点 中学校全5校 417点</p> <p>◆作品展示期間 市立図書館 H31.1.23~1.30 ショッピングプラザハロー H31.1.31~2.6 鳥羽マリンターミナル H31.2.7~2.13 鳥羽マルシェ H31.2.14~2.19 希望校巡回展示 H31.2.20~3.6</p>				
学校人権教育事業		予算現額	176 千円	
		決算額	83 千円	
		翌年度繰越額	0 千円	
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	107 千円	

学校人権教育事業

市人権教育推進委員会と市人権フォーラム実行委員会の活動を中心に各校における人権教育の推進に取り組みました。

また、各学校での取組を通して子どもたちが感じた思いや意見を出し合うことで、人権問題に対する認識を深め、感性を高め実践力の育成を図るため人権フォーラムを開催しました。

参加した子どもたちは、普段交流のない他校の子どもたちの発表を聞いたり意見交換などを行うことでさらに人権への考えが深められました。

・人権フォーラム参加児童生徒数 小学校生 41名(8校) 中学校生 39名(5校)

○主な経費

人権フォーラム参加に係る車船借上料 55千円

へき地教育振興事業	予算現額	148千円
	決算額	142千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 139千円

へき地複式教育に関わる団体への補助等を行い、団体を通してへき地複式校における教育条件の整備等の支援を行いました。

○主な経費

三重県へき地複式教育振興会及び研究会負担金等 80千円

鳥羽市へき地複式教育振興会補助金 62千円

教育振興管理事業	予算現額	3,116千円
	決算額	2,908千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 1,425千円

学校評議員を委嘱し意見や助言をいただくことにより、地域及び家庭と学校との連携を図り、学校運営に生かすように取り組みました。

中学校の教師用教科書及び指導書が改訂され、その調達を行いました。

1、学校別児童・生徒数(平成30年5月1日現在)

<1>小学校

区分 学校名	児童数(人)			学級数		
	男	女	計	普通	特別支援	計
鳥羽	99	88	187 (8)	8	3	11
答志	34	25	59 (2)	6	1	7
神島	11	9	20 (1)	3	1	4
菅島	10	11	21 (1)	3	1	4
加茂	65	57	122 (3)	6	1	7
安楽島	127	100	227 (5)	10	1	11
鏡浦	14	9	23	3	0	3
弘道	42	34	76 (1)	6	1	7
計	402	333	735 (21)	45	9	54

(注) ()内の数は、特別支援学級児童数(内数)、学級数は実学級数

教育振興管理事業

〈2〉中学校

区分 学校名	生徒数(人)			学級数		
	男	女	計	普通	特別支援	計
鳥羽東	142	113	255 (5)	9	1	10
答志	23	21	44	3	0	3
神島	5	2	7 (2)	2	1	3
加茂	34	40	74 (1)	4	0	4
長岡	23	16	39	3	0	3
計	227	192	419 (8)	21	2	23

(注) ()内の数は、特別支援学級生徒数(内数)、学級数は実学級数

〈3〉幼稚園

区分 幼稚園名	園児数(人)			学級数
	男	女	計	
かもめ	15	27	42	3

2 学校別教職員数(平成30年5月1日現在)

〈1〉小学校

(単位:人)

区分 学校名	校長	教頭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員	計
鳥羽	1	1	14	1	0	1	18
答志	1	1	8	1	1	1	13
神島	0	1	4	1	0	1	7
菅島	1	1	4	1	1	1	9
加茂	1	1	8	1	0	1	12
安楽島	1	1	13	1	0	1	17
鏡浦	1	1	3	1	0	1	7
弘道	1	1	8	1	0	1	12
計	7	8	62	8	2	8	95

〈2〉中学校

(単位:人)

区分 学校名	校長	教頭	教諭	養護 教諭	栄養 教諭	事務 職員	計
鳥羽東	1	1	19	1	1	1	24
答志	1	1	6	1	0	1	10
神島	1	1	4	0	0	0	6
加茂	1	1	7	1	0	1	11
長岡	1	1	6	1	0	1	10
計	5	5	42	4	1	4	61

〈3〉幼稚園

(単位:人)

区分 幼稚園名	園長	教諭	計
かもめ	1	5	6

教育振興管理事業		
○主な経費 学校評議員等報償費 141千円		
学力向上推進事業	予算現額	132千円
	決算額	27千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 1,015千円
<p>児童生徒の学力向上を図るため、全国学力、学習状況調査などの結果を基に、学力向上委員会で指導方法の改善等を協議し、授業の改善に努めました。</p> <p>また、新学習指導要領改訂のポイントと、それに伴って小中学校それぞれで課題となることを学び、市内各校に広げていけるよう努めました。</p>		
○研修先 これからの英語教育ビジョンおよび中期計画策定を考える研究会 名古屋市・7月21日		
○主な経費 研修旅費 8千円		
学校図書館整備事業	予算現額	5,687千円
	決算額	5,322千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 3,499千円
<p>市内小学校の学校図書館に司書資格を有する者を派遣し、図書館整備や図書担当教員への指導・助言を行うことにより、図書館の環境整備を行いました。また、図書館を活用した授業を推進し、子どもたちの読解力や文章力の向上に努めました。</p>		
○主な経費 委託料 5,322千円		
○主な財源 過疎地域自立促進特別事業債 4,000千円		
寝屋子の島留学事業	予算現額	1,751千円
	決算額	991千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 630千円
<p>答志中学校区をモデル地区として離島留学に取組み、実施委員会との協議、打合せを実施しました。</p> <p>また、研修会の実施や留学生を受入れるためのPR活動を実施し、平成30年度4月より家族留学1組を受け入れることになりました。</p>		
○主な経費 旅費 133千円		

寝屋子の島留学事業			
需用費	258千円		
○主な財源			
離島活性化交付金	348千円		
繰入金 ふるさと創生基金繰入金	644千円		
学校安全総合支援事業		予算現額	230千円
		決算額	227千円
		翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	0千円
<p>市内小中学校において「鳥羽市防災・減災プラン集 明日へのつばさ」を活用し、授業実践を行いました。また、ESD（持続可能な社会のための教育）の視点に立った防災・減災教育について気仙沼市で実践を進めた及川幸彦氏（現・東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター）を招き、防災・減災教育講演会を開催しました。</p> <p>神島小学校、鳥羽小学校、安楽島小学校、菅島小学校を実践推進校に指定し、学校防災アドバイザーである三重大学川口准教授から指導助言をいただき、児童が主体的に防災・減災に取り組む活動を行いました。</p>			
○主な財源			
県委託金	227千円		
○主な経費			
講師報償費	148千円	備品購入費	12千円
道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業		予算現額	321千円
		決算額	320千円
		翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	0千円
<p>平成30年度小学校で本格実施となり、令和元年度中学校においては教科化を控える道徳教育の研究・推進を行いました。</p> <p>弘道小学校には岐阜聖徳学園大学非常勤講師河合宣昌氏を、加茂中学校・長岡中学校には愛知淑徳大学の柴田八重子氏を招請し、実践的な取組を進めました。この3校の研究授業には市内の道徳教育推進教員も参加しました。</p>			
○主な経費			
講師報償費	210千円		
旅費	61千円		
○主な財源			
県委託金	320千円		
子どもの支援ネットワーク・グローイングアップ事業		予算現額	120千円
		決算額	120千円
		翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	0千円

子どもの支援ネットワーク・グローイングアップ事業		
<p>子どもたちの自尊感情や学習意欲を高めるとともに、いじめや差別を許さない集団作りを進めるために、答志中学校区と加茂中学校区で取り組みました。</p> <p>地域住民とともに米作りや奉仕活動、防火パレードやわかめ養殖といった体験活動を数多く行いました。また、学習発表会などで子どもたちが活動を通して学んだことを自ら発信する機会も持ちました。</p>		
○主な財源	県委託金	120千円
○主な経費	講師報償費	13千円

事業区分	3 高校生修学支援事業		5,645千円 事項別明細書 P 166 ~	
	高校生修学支援事業		予算現額	7,138千円
			決算額	5,645千円
			翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	6,103千円	
<p>教育における経済的負担の軽減を図るとともに、子育て支援及び定住促進に資するため、本市に在住している高校生の通学費の一部や、通学が困難で下宿をしている高校生の下宿費の一部を補助しました。また、募集時には近隣高校の該当生徒へ募集案内の配布などを行い、本補助制度の周知と申請件数の拡大に取り組みました。</p>				
○主な経費				
補助金		高等学校通学費補助金	5,645千円	
※内訳		通学費 272件 3,838千円	(本土 220件 1,762千円)	離島 52件 2,076千円)
		下宿費 16件 1,807千円		
○主な財源				
国庫支出金				
		へき地児童生徒援助費等補助金(離島高校生修学支援費)	1,941千円	
		繰入金 ふるさと創生基金繰入金	70千円	

(款) 9 教育費

(項) 2 小学校費

(目) 2 教育振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
21,044	18,292	364			5,793	750	11,385

事業区分	1 小学校教育振興経費		11,662千円 事項別明細書 P 168 ~	
	小学校教育振興事業		予算現額	5,686千円
			決算額	5,033千円
			翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	5,384千円	

小学校教育振興事業

各小学校からの要望による各種教材備品や学校図書を整備し、教育環境の充実に努めました。また、小学5年生を対象とした海の博物館での体験学習や小学4年生を対象とした警察署ややまだエコセンター等の公共施設の見学を通して学習内容をより一層深めることができました。

○主な経費

学校図書、教材備品購入費 1,659千円
海環境体験事業委託料 270千円

○主な財源

繰入金 ふるさと創生基金繰入金 1,204千円

理科教育振興事業	予算現額	787千円
	決算額	622千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 778千円

小学校における理科・算数教育の充実に努めるため、各学校の実態に応じた理科・算数の教材備品を整備しました。

○主な財源

国庫支出金
理科教育設備整備費補助金 237千円

○主な経費

理科・算数備品購入費 523千円

高度情報通信システム利用教育事業	予算現額	3,705千円
	決算額	3,664千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 4,472千円

学校におけるパソコン等の情報通信機器を活用した教育を推進するための環境整備を行いました。また、教育上好ましくないサイトの閲覧を制限し、安心なICT教育の環境を整備するため各校のパソコン教室で使用する教育用パソコンにWebフィルターを設定しました。

タブレット、プロジェクター、スクリーンの3点セットを市内小学校学級数の6割を目途に整備を行う5ヶ年計画の3年目として、5セット購入しました。

○主な財源

繰入金 ふるさと創生基金繰入金 824千円

○主な経費

機器修繕費 369千円
学校ネットワーク回線利用料 758千円
Webフィルター使用料 319千円
備品購入費 825千円

配置校（学校・台数）			
加茂小	2	鏡浦小	1
安楽島小	2	計	5

活力ある学校づくり推進事業		予算現額	1,800 千円
		決算額	1,627 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	1,596 千円
<p>特色ある学校事業を实践させることにより児童の活力を引き出す学校づくりを推進しました。各学校において、校外学習や地域に開かれた学校づくりの取り組みを行い、体験を通して学ぶ児童活動を推進しました。</p> <p>平成30年度各校の主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥羽小学校 地域文化ふれあい事業、芸術鑑賞会等 ・答志小学校 郷土再発見活動事業（含食の体験フェスタ）、海の子フェスタ事業等 ・神島小学校 島っ子太鼓継承活動事業、神島っ子ガイド活動等 ・菅島小学校 「島っ子ガイド」推進事業、「地域とともにある学校づくり」推進事業等 ・加茂小学校 演劇鑑賞事業、花壇整備事業等 ・安楽島小学校 児童理解と学級作り事業、芸術鑑賞会等 ・鏡浦小学校 学校間交流事業（離島校・隣接校）、伝承文化体験事業 ・弘道小学校 文化芸術体験事業、地域人材によるクラブ活動事業等 <p>○主な財源</p> <p>繰入金 ふるさと創生基金繰入金 1,627千円</p> <p>○主な経費</p> <p>講師等報償費 351千円</p> <p>消耗品費 449千円</p>			
学校音楽祭事業		予算現額	361 千円
		決算額	331 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	334 千円
<p>11月6日に鳥羽市民文化会館において市内小学校8校の児童による合同音楽祭を開催しました。各校の日ごろの音楽活動の成果を発表し、音楽祭を通して学校間の交流を深めることができました。</p> <p>○主な経費</p> <p>車船借上料及び音響機器賃借料 305千円</p>			
外国語活動推進事業		予算現額	385 千円
		決算額	385 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	0 千円
<p>国際観光文化都市に資する人づくり及び鳥羽の将来を担う子どもたちの国際的なコミュニケーション力の育成を目指すため、加茂小学校を英語モデルスクールに指定し、市内小中学校担当者とともに、外国語活動の授業づくりのための研修やイングリッシュキャンプを行いました。</p> <p>◆研修会 5回</p> <p>◆イングリッシュキャンプ 1回</p>			

特別支援教育就学対策事業	予算現額	1,249 千円
	決算額	598 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 719 千円
<p>心身に障がいのある児童の適切な就学を図るため、関係機関との連携及び特別支援学級、通級指導教室設置校の機能の充実を図りました。</p> <p>特別支援学級に在籍する児童の保護者からの申請により、世帯の所得に応じて就学に必要な経費の補助を行い保護者の経済的な負担の軽減を図りました。</p> <p>また、特別支援学級、通級指導教室における教育活動で必要となる備品の購入を行い、教育環境の整備を行いました。</p> <p>平成30年度 特別支援教育就学奨励費受給者数 7名</p> <p>○主な財源 国庫支出金 特別支援教育就学奨励費補助金 37千円</p> <p>○主な経費 特別支援教育就学奨励費扶助 128千円 特別教育教材備品購入費 405千円</p>		
就学援助事業	予算現額	6,491 千円
	決算額	5,476 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 5,793 千円
<p>経済的理由により就学することに支障をきたしている児童の保護者からの申請に基づき、就学にかかる経済的援助を行いました。</p> <p>また、地理的条件のため遠距離通学をしている児童の保護者に対し、通学費の補助を行い保護者の経済的負担の軽減を図りました。</p> <p>平成30年度 準要保護児童・生徒就学援助費扶助対象児童数 107名 遠距離通学費補助対象児童数 154名</p> <p>○主な経費 準要保護児童就学援助費扶助 2,885千円 遠距離児童通学費補助金 2,591千円</p>		

学校ボランティアパートナーシップ事業	予算現額	60 千円
	決算額	41 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 30 千円
<p>読み聞かせのボランティア団体「ミルキーウェイ」と「読み聞かせの会」の協力を得て、希望する小学校を訪問し絵本や紙芝居を用いた読み聞かせを行いました。学校での読書指導と合わせ児童の読書への関心・意欲の向上を図り、想像力や感性を豊かにすることができました。</p>		

学校ボランティアパートナーシップ事業	
平成30年度 学校訪問回数	
ミルクウェイ	4回
読み聞かせの会	10回
○主な経費	
読み聞かせボランティア報償費	41千円

事業区分	4 教職員研修事業	515 千円	事項別明細書 P 170 ~
教職員研修事業		予算現額	520 千円
		決算額	515 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	515 千円
<p>鳥羽志摩教育研究会や市教育研究推進校への補助を通して教職員の資質の向上を図りました。 また、各校からの授業研究に係る指導主事への派遣要請を受け要請訪問を実施し、授業に対しての指導及び助言を行いました。</p> <p>平成30年度 鳥羽市教育研究推進校 鏡浦小学校 研究主題 『複式授業で主体的・協同的に学ぶ子どもの育成』 ～自ら考え表現し、学び合う授業の確立をめざして～</p> <p>平成30年度 指導主事要請訪問回数 44回（小学校8校延べ数）</p>			
○主な経費			
鳥羽市教育研究推進校事業補助金		200千円	
鳥羽志摩教育研究会負担金		240千円	
市小中学校校長会補助金		35千円	
市小中学校教頭会補助金		40千円	

(款) 9 教育費

(項) 3 中学校費

(目) 2 教育振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
20,402	16,910	309			2,110	480	14,011

事業区分	1 中学校教育振興経費	9,258 千円	事項別明細書 P 172 ~
中学校教育振興事業		予算現額	5,135 千円
		決算額	4,502 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	3,608 千円
<p>各中学校からの要望による各種教材備品や学校図書を整備し、教育環境の充実に努めました。</p>			
○主な財源			
繰入金 ふるさと創生基金繰入金		599千円	
○主な経費			
学校図書、教材備品購入費		1,331千円	

理科教育振興事業		予算現額	1,261 千円																								
		決算額	1,235 千円																								
		翌年度繰越額	0 千円																								
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	1,104 千円																								
<p>中学校における理科・数学教育の充実を図るため、各学校の実態に応じた理科・数学の教材備品を整備しました。</p> <p>○主な財源 国庫支出金 理科教育設備整備費補助金 520千円</p> <p>○主な経費 理科・数学備品購入費 1,177千円</p>																											
コンピュータ教育事業		予算現額	2,364 千円																								
		決算額	2,145 千円																								
		翌年度繰越額	0 千円																								
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	1,902 千円																								
<p>学校におけるパソコン等の情報通信機器を活用した教育を推進するための環境整備を行いました。また、教育上好ましくないサイトの閲覧を制限し、安心なICT教育の環境を整備するため各校のパソコン教室で使用する教育用パソコンにWebフィルターを設定しました。</p> <p>タブレット、プロジェクター、スクリーンの3点セットを市内中学校学級数の6割を目途に整備を行う5ヶ年計画の3年目として、3セット購入しました。</p> <p>○主な財源 繰入金 ふるさと創生基金繰入金 494千円</p> <p>○主な経費</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>機器修繕費</td> <td>73千円</td> <td colspan="3">配置校 (学校・台数)</td> </tr> <tr> <td>学校ネットワーク回線利用料</td> <td>486千円</td> <td>鳥羽東中</td> <td>2</td> <td>長岡中</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>Webフィルター使用料</td> <td>293千円</td> <td colspan="3" style="text-align: center;">計</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>備品購入費</td> <td>495千円</td> <td colspan="3"></td> <td></td> </tr> </table>					機器修繕費	73千円	配置校 (学校・台数)			学校ネットワーク回線利用料	486千円	鳥羽東中	2	長岡中	1	Webフィルター使用料	293千円	計			3	備品購入費	495千円				
機器修繕費	73千円	配置校 (学校・台数)																									
学校ネットワーク回線利用料	486千円	鳥羽東中	2	長岡中	1																						
Webフィルター使用料	293千円	計			3																						
備品購入費	495千円																										
活力ある学校づくり推進事業		予算現額	1,250 千円																								
		決算額	1,097 千円																								
		翌年度繰越額	0 千円																								
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	1,161 千円																								
<p>特色ある学校事業を实践させることにより生徒の活力を引き出す学校づくりを推進しました。各学校において、校外学習や地域に開かれた学校づくりの取り組みを行い、体験を通して学ぶ生徒活動を推進しました。</p> <p>平成30年度各校の主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥羽東中学校 香しき文化構築事業、花開く人権感覚醸成事業等 ・答志中学校 ふるさと学習（職場体験学習事業）、文化祭（講演会・体験学習事業）等 ・神島中学校 学校間交流事業、人権学習推進事業等 ・加茂中学校 キャリア教育推進事業（保育実習・職場体験等）、文化活動奨励事業（体験講座等）等 ・長岡中学校 開かれた学校推進事業、職場体験学習事業等 																											

活力ある学校づくり推進事業		
○主な財源	繰入金 ふるさと創生基金繰入金	1,097千円
○主な経費		
	講師等報償費	462千円
	消耗品費	562千円
学校音楽祭事業	予算現額	293千円
	決算額	279千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 255千円
<p>11月9日に鳥羽市民文化会館において市内中学校5校の生徒による合同音楽祭を開催しました。各校の日ごろの音楽活動の成果を発表し、音楽祭を通して学校間の交流を深めることができました。</p>		
○主な経費		
	車船等借上料	82千円

事業区分	2 就学奨励事業		7,352千円	事項別明細書 P 172 ~
特別支援教育就学対策事業	予算現額	604千円		
	決算額	156千円		
	翌年度繰越額	0千円		
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	30千円	
<p>心身に障がいのある生徒の適切な就学を図るため、関係機関との連携及び特別支援学級の機能の充実を図りました。特別支援学級に在籍する生徒の保護者からの申請により、世帯の所得に応じて就学に必要な経費の扶助を行い保護者の経済的な負担の軽減を図りました。</p>				
○主な経費				
	特別支援教育就学奨励費扶助	124千円		
就学援助事業	予算現額	9,195千円		
	決算額	7,196千円		
	翌年度繰越額	0千円		
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	7,797千円	
<p>経済的理由により就学することに支障をきたしている生徒の保護者からの申請に基づき、就学にかかる経済的援助を行いました。また、地理的条件のため遠距離通学をしている生徒の保護者に対し、通学費の補助を行い保護者の経済的負担の軽減を図りました。</p> <p>平成30年度 準要保護児童・生徒就学援助費扶助対象生徒数 68名 遠距離通学費補助対象生徒数 26名</p>				
○主な経費				
	準要保護生徒就学援助費扶助	4,668千円		
	遠距離生徒通学費補助金	2,528千円		

教職員研修事業	予算現額	300 千円
	決算額	300 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 500 千円
<p>鳥羽志摩教育研究会や市教育研究推進校への補助を通して教職員の資質の向上を図りました。 また、各校からの授業研究に係る指導主事への派遣要請を受け要請訪問を実施し、授業に対しての指導及び助言を行いました。</p> <p>平成30年度 鳥羽市教育研究推進校 答志中学校 研究主題 「「表現力」豊かな生徒をめざして」</p> <p>平成30年度 指導主所要請訪問回数 20回（中学校5校延べ数）</p> <p>○主な経費</p> <p>鳥羽市教育研究推進校事業補助金 100千円 鳥羽志摩教育研究会負担金 150千円 市小中学校校長会補助金 25千円 市小中学校教頭会補助金 25千円</p>		

(款) 9 教育費

(項) 6 保健体育費

(目) 2 保健体育振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
18,206	16,509	281				2,591	13,637

小中学校(園)保健振興事業	予算現額	18,206 千円															
	決算額	16,509 千円															
	翌年度繰越額	0 千円															
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 16,989 千円															
<p>学校保健安全法に基づき園児、児童生徒及び教職員の健康保持と増進を図るため、学校医・学校歯科医及び薬剤師等各機関の協力の下、健康診断・各種検査を行いました。</p> <p>また、幼稚園、小中学校の管理下における災害に対し、日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度に加入し、園児、児童・生徒の災害における医療費等の給付を行いました。</p> <p>平成30年度 災害共済給付状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学校種別</th> <th>給付件数 (件)</th> <th>給付額 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小学校</td> <td>82</td> <td>324</td> </tr> <tr> <td>中学校</td> <td>187</td> <td>1,330</td> </tr> <tr> <td>幼稚園</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>269</td> <td>1,654</td> </tr> </tbody> </table>			学校種別	給付件数 (件)	給付額 (千円)	小学校	82	324	中学校	187	1,330	幼稚園	0	0	合計	269	1,654
学校種別	給付件数 (件)	給付額 (千円)															
小学校	82	324															
中学校	187	1,330															
幼稚園	0	0															
合計	269	1,654															

小中学校(園)保健振興事業	
○主な財源	
国庫支出金	421千円
へき地児童生徒援助費等補助金(保健管理費)	
○主な経費	
学校医等報酬	9,314千円
健康診断他委託料	2,015千円
災害共済給付掛金	1,091千円

(款) 9 教育費

(項) 6 保健体育費

(目) 4 学校給食費

(単位:千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
91,079	84,542			4,200	3,045	126	77,171

事業区分	1 学校給食給与等管理費		84,542千円	事項別明細書 P 186 ~
	学校給食運営事業		予算現額	58,219千円
			決算額	56,069千円
			翌年度繰越額	0千円
	まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	70,171千円
	<p>学校給食法に基づき、児童生徒の心身の健全な発達を目的とし栄養バランスのとれた学校給食を提供しました。また、学校給食を通して食生活全般を通じた食育の推進を図りました。</p> <p>経済的に困窮し就学困難な児童生徒の保護者に対して学校給食費の援助を行いました。</p> <p>学校給食衛生管理基準に沿った学校給食を実施するため、給食調理場の設備、備品の整備を行いました。</p> <p>各学期ごとに1回、地元でとれる新鮮な旬の食材の給食のメニューを取り入れ、「自然豊かな鳥羽」の良さを食を通して、児童・生徒が再確認とし、鳥羽を愛する心(郷土愛)を育むために「鳥羽が好きふるさと給食」を実施しました。</p> <p>平成30年度 準要保護児童生徒就学援助費(学校給食費)扶助対象者数 小学校 107名 中学校 68名</p>			
	○主な経費			
	光熱水費			932千円
	学校給食調理業務委託 (菅島小学校、神島小学校、答志共同調理場)			16,884千円
	準要保護児童生徒就学援助費扶助(学校給食費)			8,031千円
学校給食運営事業(中央調理場)		予算現額	32,860千円	
		決算額	28,473千円	
		翌年度繰越額	0千円	
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	31,209千円	

学校給食運営事業(中央調理場)

学校給食法に基づき、児童生徒の心身の健全な発達を目的とし栄養バランスのとれた学校給食を提供しました。また、学校給食を通して食生活全般を通じた食育の推進を図りました。

学校給食衛生管理基準に沿った学校給食を実施するため、給食調理場の設備、備品の整備を行いました。

各学期ごとに1回、地元でとれる新鮮な旬の食材の給食のメニューを取り入れ、「自然豊かな鳥羽」の良さを食を通して、児童・生徒が再確認とし、鳥羽を愛する心(郷土愛)を育むために「鳥羽が好きふるさと給食」を実施しました。

○主な経費

嘱託臨時調理員賃金	11,611千円
光熱水費	6,498千円
学校給食配送業務他委託料	4,153千円

生 涯 学 習 課

【総括】

全庁的な動きの中で、「とばびと活躍プロジェクト」として、市民の皆さんが生き生きと活躍する中で幸福実感を深めることを目指していますが、本課の役割は、市民の皆さんが得意分野を伸ばして活躍できるよう、そのきっかけを作るとともに、自分たちが住むまちの歴史や文化について知識を深め、愛着と誇りを持って暮らしていくベースづくりに寄与することだと考えています。平成30年度も鳥羽に暮らす方々が生涯にわたって、学習やスポーツを楽しむ機会を持ち、潤いのある暮らしを送ることを目的として、社会教育・文化・スポーツ分野における生涯学習活動を推進しました。

地域活動の拠点となる公民館やコミュニティアリーナについては、経年劣化による不具合について修繕を行いつつ、地域の方々が生き生きと活動できる環境づくりに努めました。中央公民館において実施している生涯学習講座では、「ピラティス」や「ソフトヨガ」といった体を動かす活動から、「絵画」や「指文字アート」、「はじめてのペン習字」などの講座を開講し、参加者の新たなチャレンジの機会を生み出しました。夏休みに実施した親子体験教室も定員を上回る申込があり、会場を変更して対応しつつ、新たな体験の場を提供しました。

地元について学ぶ中で本地域の持つ魅力に気づき、このまちの一員として活躍することに誇りを感じていただく方が一人でも増えることを目指し、人材育成講座「地球塾」を開催しました。

昨年度作成した副読本「とばっこ探偵団」を配付し、小学校において郷土学習を推進しました。手始めとして、今年度は小学4年生が「御木本幸吉」について学ぶこととし、学習意欲向上の仕掛けとして2月に「とばっこ検定」を実施しました。実施にあたり、学校現場に馴染み、かつ効果の高い取組みとするため、三重大学の教授や現場の先生方で組織する「とばっこ検定検討委員会」を立ち上げたほか、担当学年の先生との意見交換も交えて協議を行いました。結果、一定のルールの中で、学校において補助教材として本課が作成したドリルを活用しながら学習を進めていただいたほか、出前授業やミキモト真珠島への見学を組み込んだケースも見られ、子ども達が「御木本幸吉」という題材を通じて真珠養殖の手法や当時、海女が果たした役割等、時代背景も交えながら学習を進めることができました。

平成29年10月に市立化した「海の博物館」では、特別展や企画も催しつつ、海女文化や漁村の習俗について発信を行いました。市内の小学校の海学習の場や修学旅行、遠足等の体験活動施設としても活用され、社会教育施設としての役割を果たしました。海女文化についての発信機能を強化していくため、後年度における展示の一部改修に向けた設計を行いました。

また、市民の方々に本博物館及び海女文化に触れていただく機会を拡充すべく、昨年度に続き、市と関係団体とで組織する「うみはくを活かした鳥羽賑わいづくり実行委員会」において、「竹あかりと星あかり」（701名の来館）や北の海の流水を運んで展示した「うみはく×とばすい流水days」（537名の来館）等の事業を行いました。これにより、市立化以降のスタートダッシュという目的は達成できたため、同実行委員会の事業については、30年度を以て終了としました。

このほか、旧鳥羽小学校において、今年度も耐震壁による補強工事を行いました。これで耐震工事を完了できたことから、防火設備や雨漏り修繕等、まだまだ活用に向けた課題はあるものの、後年度の活用に向けて一歩、歩みを進めることができました。

図書館では、小中学校の長期休暇中に昼食場所として会議室を開放する等、利便性の向上を図りつつ、運営を行いました。新たな書籍を購入し、読書環境を整えたほか、「絵本とかみしばいの会」や夏休みの工作教室等といった文化活動にも取り組みました。

スポーツ推進については、友好都市である三田市を訪問し、子ども達がミニバスケットボールを行うなど交流を深めることができました。また、鳥羽市民大運動会ではあいにくの雨に見舞われたものの、900人の参加者があり、子どもから高齢者まで健康づくりの場を提供することができたほか、コーディネートトレーニングでは、指導者育成のための講習会を開催するなど、子ども達の運動能力や感性・知性の発達につながる能力向上に努めました。平成26年度から実施してきましたTOBAウォーク事業については、ウォーキングの普及という点で一定のアピールができ、啓発・動機付けに繋がったため、平成30年度をもって廃止しました。

【新たに実施した事業】

市内には、子ども達が地域について学ぶとともにコミュニケーション能力を磨いていく学習の1つの形として、子ども達が地域を案内して魅力を伝える「ガイド」活動を行っている学校があります。これらの活動を地域外からの来訪者だけでなく、市民の方々にも知っていただく機会を設けるため、市民文化祭の冒頭のプログラムとして、神島小、菅島小、長岡中、鳥羽高校による「とぼっ子ガイドフェスティバル」を組み込みました。歌や身振りを付け加えた小学生のガイドから、地域で伝承されてきた文化をしっかりと調べて発表した中学生の発表、「全国高等学校観光選手権大会（観光甲子園）」において、今年も全国180件の中から13位になり、「審査員長特別賞」を受賞した実績を持つ鳥羽高等学校のプレゼンと、児童・生徒が年齢に応じた工夫を凝らして鳥羽の魅力を伝えました。

令和3年度に開催されます三重とこわか国体に向け、円滑に競技を実施するため、実行委員会を組織しました。また、本市で行われる競技であるフェンシングの普及事業を実施したほか、競技会場の基本設計を行いました。

市民体育館サブアリーナ増築工事实施設計を行ったほか、改修された中央公園テニスコートの備品購入を行うなどスポーツ環境の向上を図りました。

【予算執行を伴わない事業】

三重大学「海女研究センター」の主催で、海の博物館を会場とした市民向けの「海女学」講座が開催されました。全国の海女からの聞き取り調査の報告や、海藻と海女の関係、昭和の映像・写真からわかる当時の海女習俗といった幅広いテーマで6回の講座が開催され、市民を含む多くの方が海女に関する知識を広げることができました。

また、海の博物館は、観光課による「鳥羽うみアートプロジェクト」事業の中で、アーティストの作品展示の場として活用されたほか、鳥羽市観光協会による「チームラボお絵かき水族館」の会場としても使用され、「海」をテーマとした地域の文化活動の拠点として活用されました。

新たな本との出会いと市民生活における潤いが生まれることを目的として、「どこでも図書館」を市民の森公園で始めました。乳母車に数十冊の本を入れた簡易図書館ですが、来訪者が気軽に本に触れる機会を拡充するため、天気の良い日には、ガリバーすべり台の下に乳母車を設置しています。遊具の活用や散歩といった体を動かす活動以外に、公園での新たな過ごし方の提案の1つになることを期待しています。

社会教育事務局運営事業		
○主な経費		
委員報酬	社会教育委員報酬（12名）	80 千円
職員人件費	（5名）	35,023 千円
臨時職員人件費	（2名）	3,636 千円
報償	海の香りのする詩参加賞（文具）・賞品（図書カード）	250 千円
印刷製本費	海の香りのする詩作品集他	137 千円
会費等負担金	三重県社会教育委員連絡協議会	10 千円
○主な財源		
繰入金	ふるさと創生基金繰入金（海の香りのする詩事業）	511 千円

事業区分	2 人権教育推進事業		2,570 千円	事項別明細書 P 176 ~
	人権教育推進事業		予算現額	2,605 千円
			決算額	2,570 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標		1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	2,535 千円
<p>市内の保育所や小中学校等を会場とし、子どもたちや保護者が「インターネットと人権」「障がいを持ちながら生きること」「多様な性のあり方」等について、考えるための講演会等を開催しました。また、社会教育指導員を配備し、学校における人権教育を踏まえながら、広報等を通じて人権啓発を行いました。</p>				
		回数	参加者数（延べ人数）	
講演会・学習会		14	1,499	
○主な経費				
報酬	社会教育指導員報酬（1名）			1,740 千円
報償	人権教育推進事業講師報償（14事業）			334 千円
補助金	市人権教育研究事業			230 千円

事業区分	3 生涯学習推進事業		2,048 千円	事項別明細書 P 176 ~
	生涯学習推進事業		予算現額	387 千円
			決算額	265 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標		1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	285 千円
<p>新成人13名で実行委員会を組織し、開催テーマ「平成から新たな出発～次へのバトンパス」を掲げ、平成最後の成人式を開催しました。1月13日の式典では、商工会議所かもめホールを会場とし、来賓からの激励の言葉をいただくとともに、実行委員会が作成した思い出のピクチャーの上映を行いました。「2019 TOBA CITY」の文字が刻まれた記念品も贈呈し、出席者184名の門出を祝うことができました。</p>				
		新成人（人）	式典参加者数（人）	
		203	184	
○主な経費				
報償費	成人式記念品			195 千円

人材育成講座「地球塾」事業	予算現額	1,236千円
	決算額	1,083千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 160千円

御木本幸吉の精神に学ぶ「地球塾」も17期生を迎え、今年度は「地域の祭の魅力」や「松浦武四郎と幕末の伊勢志摩」等、広く地元の歴史・文化を学ぶ講座を開講しました。

今年度から、子どもたちの地域に対する知識や愛着を育てるきっかけとして、従来から実施している出前講座に加えて、副読本「とばっこ探偵団」を活用した郷土学習と、子どもたちの意欲向上の仕掛けである「とばっこ検定」をスタートしました。今年度は、小学校4年生を対象に「御木本幸吉」をテーマとし、各校で出前授業や施設見学を取り入れた学習が行われました。

検定の後に聴取した子どもたちの感想の中には、地域のことを学べた意義や自分が暮らすまちを誇りに思う気持ちも読み取れたことから、次年度は対象を5年生に拡大し、「海女」をテーマとした学習を実施していきます。

講座種類	回数(回)	参加者延べ人数(人)
地球塾講座	5	150
郷土学習出前講座	5	121

○主な経費

地球塾講師等報償	27千円
委託料 郷土学習推進検定教材等作成業務	999千円

放課後子供教室推進事業	予算現額	848千円
	決算額	700千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 646千円

加茂小学校・安楽島小学校の2校区で、放課後の子どもたちの居場所づくりと新たな体験の機会提供を兼ねて、水曜日に放課後子ども教室「かもっこ」「あらっこ」を開催しました。コーディネーターに実施にあたってのアイデアをいただきながら、グラウンドゴルフやバドミントンなどの体を動かす活動やまち探検の成果も踏まえた防災マップづくり、お菓子づくり等、放課後の有意義な時間づくりに努めました。

各教室別内訳	回数(回)	参加者延べ人数(人)	登録者数(人)
かもっこ放課後子ども教室	15	513	82
あらっこ放課後子ども教室	21	1,096	140
計	36	1,609	222

○主な経費

放課後子ども教室・放課後子どもプラン運営委員報償	65千円
放課後子ども教室コーディネーター等報償	496千円

○主な財源

県補助金 放課後子供教室推進事業補助金	466千円
---------------------	-------

歴史文化ガイドセンター事業	予算現額	3,197 千円
	決算額	3,112 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-3【歴史文化】地域文化の奥深さをわかちあおう	(前年度決算額) 3,033 千円

市街地の入口に立地する歴史文化ガイドセンターを借上げ、九鬼嘉隆展を常設し、鳥羽の歴史・文化を紹介しました。また、今年度は、夏休みで鳥羽への来訪者が増える時期を中心に、「古代の鳥羽を探る」と題して、贅遺跡から出土し、昨年度に保存処理を施した帯金具等の展示もを行い、「古代」という新たな視点から本市の紹介をすることができました。（企画展入場350人）

○主な経費

鳥羽市歴史ガイドセンター賃借料・共益費 2,775 千円

社会教育関係団体育成事業	予算現額	1,891 千円
	決算額	1,890 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 1,891 千円

社会教育団体の活動に対して補助金を交付し、各団体の自主的な活動を支援し、歴史、文化の継承や青少年等の健全育成を図りました。

○主な活動内容

助成団体	活動内容
鳥羽市婦人会連絡協議会	各地区の婦人会を束ね、「鳥羽物語」の普及や花いっぱい運動に携わってきましたが、市内でまとまった活動に区切りをつけ、今後は地区の婦人会活動に重点を置いていくこととなったため、平成30年度を以て解散となりました。
鳥羽市PTA連合会	全国、東海北陸PTA研究大会に参加し、家庭教育について考える機会を持つとともに、「保護者と教職員の語る会」や「市長・教育長・教育委員と語る会」といった情報共有・協議の場を設けました。
鳥羽市青少年育成市民会議	みんなで凧作り教室や新春凧あげ大会を開催しました。夏のスターウォッチングは悪天候のため、実施できませんでしたが、子どもフェスティバルの開催等にも協力し、青少年の健全育成に努めました。
鳥羽市文化協会	「市民文化祭」を開催し、市内の文化活動団体の発表や生涯学習講座・文化講座の取組み成果の展示を行うことで、本市における多様な文化活動を奨励する機会としました。
鳥羽郷土史会	郷土の歴史文化を次世代に継承するため、学習会を開催しました。今年度は、鳥羽の方言に関する講演会を開催したほか、関係団体と連携し、フィールドワークを行いました。

社会教育関係団体育成事業

助成団体	活動内容
鳥羽恐竜研究振興会	鳥羽竜の化石発見現場での案内や地質にかかる講演会の開催、市民文化祭における化石レプリカ作りなどを実施し、化石や地域の地質への関心を高めました。

○主な経費

補助金	鳥羽市婦人会連絡協議会	72 千円
	鳥羽市PTA連合会	50 千円
	鳥羽市青少年育成市民会議	450 千円
	鳥羽市文化協会	380 千円
	鳥羽郷土史会	100 千円
	鳥羽恐竜研究振興会	800 千円

○主な財源

繰入金	ふるさと創生基金繰入金（鳥羽恐竜振興会補助金分）	800 千円
-----	--------------------------	--------

(款) 9 教育費

(項) 5 社会教育費

(目) 2 公民館費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
11,849	11,385			2,400		625	8,360

事業区分

1 公民館維持管理事業

9,753 千円 事項別明細書 P 178 ~

公民館維持管理事業	予算現額	9,931 千円
	決算額	9,753 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 20,424 千円

中央公民館及び各地域にある分館の光熱水費の支出や修繕を行いました。地域の分館が老朽化する中、修繕については地域の要望も聞き取っていますが、浄化槽の機能不全やガス漏れ等の突発的な不具合が発生し、緊急性を重視しながら、優先順位を付けて修繕を施しました。

現在、高齢化の進展を考慮し、トイレの洋式化等の機能向上にも順次取り組んでいます。

○主な経費

各分館光熱水費		4,494 千円
修繕費		1,069 千円
工事請負費	大明西分館改修工事 (浄化槽設置、トイレ洋式化)	2,452 千円
会費等負担金	防火管理者講習 (1名分)	8 千円

○主な財源

地方債	過疎対策事業債	2,400 千円
-----	---------	----------

公民館活動推進事業	予算現額	1,918 千円
	決算額	1,632 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 1,765 千円

中央公民館では、あらゆる世代の市民の学びの場として生涯学習講座を実施しました。定期講座18種類のほか、地元宿泊施設のシェフによる料理講座等の特別講座6種類、夏休みの親子体験教室5種類、出張講座1種類の計30講座を開催しました。

30年度の夏は酷暑となり、体を動かす講座を急遽、冷房が効く会場に変更する等の対応が必要となりましたが、無事に予定していた全講座を終了できました。受講生のアンケートでは、講師の指導の下、新たな活動にチャレンジできた喜びや習得できたスキルに満足する声も見られ、一定の成果を上げることができたととらえています。

《開催した生涯学習講座》

講座名	回数	延べ人数 (人)	講座名	回数	延べ人数 (人)
みんなで簡単な踊りをしましょう	7	161	長尾オルガンで歌いましょう	3	36
3B体操	7	76	はじめての消しゴムはんこ	3	25
ピラティス	7	184	鳥羽国際ホテルのシェフに 学ぶ家庭でできるフランス 料理	1	23
はじめてのフラダンス	4	44	キャンドル	2	17
はじめてのバレトン	5	65	歴史散歩in神島	1	18
ソフトヨガ	5	90	クリスマスリース	1	6
はじめてのExcel2010	5	44	お正月の壁掛けアートフラワー	1	10
はじめてのペン習字	6	120	オランダの家庭料理	1	16
暮らしの中の書	7	100	夏休み体験 (キャンディボックス)	1	19
指文字アート	5	47	夏休み体験 (キャンドル)	1	28
絵画	6	102	夏休み体験 (おやつ作り)	1	12
やきものを楽しむ	5	52	夏休み体験 (陶芸)	1	37
丸形のマルチバスケットを作ろう	5	60	夏休み体験 (竹あかり)	1	31
アートクレイシルバーアクセサリー	4	40	出張講座 (桃取地区) ガーデニング	1	21
季節のガーデニング	4	54			
世界の珈琲	3	17			
合計 (全30講座)				104	1,555

○主な経費

報酬	公民館主事報酬 (20人)	464 千円
報償	生涯学習講座等報償	996 千円

(款) 9 教育費

(項) 5 社会教育費

(目) 3 図書館費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
35,580	35,167				2,193	3,406	29,568

事業区分 1 図書館給与等管理費 35,167 千円 事項別明細書 P 178 ~

図書館運営事業	予算現額	35,344 千円
	決算額	34,932 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 38,635 千円

第2次鳥羽市子ども読書活動推進計画に基づき、小中学校への出前ブックトークの実施や図書館での絵本と紙芝居の読み聞かせ、おはなし会等を開催し、読書に親しむ機会づくりを提供しました。また、適切な環境整備や利用者サービスに努めました。

《図書館行事一覧表》

行事名	開催月・回数	参加者数(延人数)	行事名	開催月・回数	参加者数(延人数)
絵本とかみしばいの会	毎月1回	81	工作&おりがみ教室「お正月かざりを作ろう」	12月(1回)	7
赤ちゃん絵本の会	毎月第4金曜日	31	大人のためのおはなし会	2月(1回)	37
おはなし会	毎月第1土曜日	81	春休みおはなし会	3月(1回)	29
ブックトーク	毎月1回	60	ストーリーテリング勉強会	毎月第3火曜日	10(会員)
ストーリーテリング講習会	5~6月(3回)	53	読書会	毎月第2火曜日	11(会員)
夏休みおはなし会	7月(1回)	18	古文書講座	10~2月(5回)	13(受講生)
工作教室「モバイルを作ろう」	7月(1回)	13	俳句講座(文化講座)	毎月第1木曜日	12(受講生)
おりがみ教室「しおりを作ろう」	8月(1回)	12	書道講座(文化講座)	毎月第2金曜日	19(受講生)
手づくり絵本講習会	8月(2回)	17	短歌講座(文化講座)	毎月第4木曜日	12(受講生)
「絵本と子育て」講演会	10月(1回)	53	絵画講座(文化講座)	毎月第4木曜日	7(受講生)
世界KAMISHIBAIの日	12月(1回)	10	本のサイクルフェア(1回目)	5~6月	希望者218人 1,792冊
冬休みおはなし会	12月(1回)	17	本のサイクルフェア(2回目)	9~10月	希望者172人 1,247冊

《展示会・作品展》

展示名	期間	展示名	期間
こどもの読書週間を楽しもう!	4月19日~5月13日	赤塚壬生寄贈本展	10月19日~11月11日
教科書展示	6月15日~30日	絵画講座作品展	12月13日~26日
原爆と人間展	7月21日~8月31日	市内小中学校書き初め作品展	1月22日~30日
夏休み!読書をしよう!!	7月21日~8月31日	金胎寺史料展	2月8日~17日
手づくり絵本ミニ作品展	8月22日~31日	平成30年度文化講座作品展覧会	3月1日~12日
「知る、行く、つながる。熊本・大分と東北」キャンペーン	9月13日~20日	月と島全国写真コンクール入賞作品展	3月15日~22日
読書週間展示	10月19日~11月11日		

図書館運営事業

◎図書館利用状況

登録者数（人）	入館者数（人）	会議室利用件数（回）	コピーサービス（枚）
11,879	75,438	172	3,616

◎貸出状況

（冊）

一般書	児童書	郷土・雑誌	視聴覚他	計	内、団体貸出冊数
52,067	37,693	5,855	959	96,574	11,724

◎蔵書数

（冊）

平成28年度	平成29年度	平成30年度
189,372	188,851	192,602

◎職業体験・社会見学受入状況

加茂・答志・鳥羽東中学校（職業体験）7名 鏡浦・加茂・弘道小学校（社会見学）45名

◎市内小中学校へのブックトーク実施

小学校8校・48回 中学校4校・12回

○主な経費

職員人件費（1名）		6,741千円
臨時・嘱託職員賃金等		12,766千円
委託料	トイレ維持管理業務	75千円
	図書マーク作成業務	248千円
	警備業務	117千円
	スズメバチ駆除業務	27千円
備品購入費	図書・視聴覚資料等	6,534千円
会費等負担金	日本図書館協会	37千円
	三重県図書館協会	18千円
	防火管理講習受講料	7千円

○主な財源

繰入金	ふるさと創生基金繰入金	1,958千円
諸収入	三重県市町村職員互助会公益事業助成金	3,000千円

子育て支援（ブックスタート）事業

	予算現額	236千円
	決算額	235千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 229千円

健康福祉課が行う7ヵ月児健康相談時に、赤ちゃんと保護者の心がふれあうきっかけづくりとして、ブックスタートパック（絵本2冊、赤ちゃんの絵本リスト、トートバッグ等）を手渡し、意義や絵本の魅力を伝えました。

○主な経費	消耗品費	235千円
○主な財源	繰入金 ふるさと創生基金繰入金	235千円

(款) 9 教育費

(項) 5 社会教育費

(目) 4 補導センター費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
1,842	1,692					2	1,690

事業区分		1 青少年サポートセンター運営事業	1,692 千円	事項別明細書 P 180 ~																					
青少年サポートセンター運営事業			予算現額	1,842 千円																					
			決算額	1,692 千円																					
			翌年度繰越額	0 千円																					
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	1,802 千円																						
<p>子ども達の登下校時を中心としたサポートセンター職員による随時見まわりのほか、関係機関の指導員とともに赤崎まつりやみなとまつりの際の夜間パトロール、夏休み中の市内一円の夜間パトロールを実施し、青少年の非行防止、健全育成に努めました。また、有害環境から子ども達を守るため、コンビニエンスストアに対して立ち入り調査を実施しました。</p> <p>このほか、南勢志摩地区の高等学校・補導センター・管轄警察が出席する連絡協議会に参加し、地域の学校に通う高校生の状況について協議・情報共有を図りました。</p>																									
指導員の巡回指導等実施状況																									
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th>実施内容</th> <th>回数 (回)</th> <th>参加人数 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>随時指導</td> <td>133</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td>合同指導</td> <td>11</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>特別合同指導</td> <td>4</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td>啓発活動</td> <td>3</td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>環境浄化活動</td> <td>11</td> <td>22</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>162</td> <td>307</td> </tr> </tbody> </table>					実施内容	回数 (回)	参加人数 (人)	随時指導	133	147	合同指導	11	25	特別合同指導	4	75	啓発活動	3	38	環境浄化活動	11	22	合計	162	307
実施内容	回数 (回)	参加人数 (人)																							
随時指導	133	147																							
合同指導	11	25																							
特別合同指導	4	75																							
啓発活動	3	38																							
環境浄化活動	11	22																							
合計	162	307																							
○主な経費		青少年サポートセンター指導員 (1名) 人件費	1,581 千円																						

(款) 9 教育費

(項) 5 社会教育費

(目) 5 コミュニティ事業費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
3,211	2,961					40	2,921

事業区分		1 コミュニティ施設運営管理経費	2,961 千円	事項別明細書 P 180 ~
コミュニティアリーナ維持管理事業			予算現額	3,211 千円
			決算額	2,961 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	2,880 千円	

コミュニティアリーナ維持管理事業

離島におけるスポーツ・文化活動の拠点として、各コミュニティアリーナの維持管理・修繕を行い、安全安心に使用できるよう、施設整備に努めました。答志コミュニティアリーナについては、指定管理者である島の旅社推進協議会に管理運営を委託し、地域における各種競技の練習のほか、高校の夏合宿や地域外からの来訪者の体験活動の場として活用されました。

○主な経費

委託料 答志コミュニティアリーナ指定管理業務 1,058千円

(款) 9 教育費

(項) 5 社会教育費

(目) 6 文化財保護費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
46,551	41,496	4,748		27,700	100	1,013	7,935

事業区分 1 文化財保護事業 41,496千円 事項別明細書 P 182 ~

文化財保存推進事業	予算現額	40,909千円
	決算額	36,265千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	2-3【歴史文化】地域文化の奥深さをわかちあおう	(前年度決算額) 17,105千円

各文化財を保全するとともに、より良い形で公開できるよう、工事等を実施しました。

伊良子清白の家は、平成21年のマリパークへの移築から9年が経過し、移築時に整備したウッドデッキ部分が老朽化してきたことから、修繕を実施しました。

青峯山正福寺については、山門の彫刻や海上守護の信仰等の魅力を有しており、この価値を伝えていくために文化財の案内板をリニューアルしました。

旧鳥羽小学校については、今後の活用に向けて実施していた耐震工事が今年度で完了できました。また、運動場の東側斜面について、平成23年の土砂崩れにより一部の石が露出し、崩落の危険性があつたことから、法面下の通行者や鉄道線路の安全を確保するため、落石防止ネットを設置しました。

このほか、海女文化を活かした鳥羽賑わいづくり事業に補助を行い、竹あかりや流水展示等のイベントを開催することで海女文化の拠点施設に足を運ぶ機会を拡充しました。

○主な経費

委託料	旧鳥羽小学校除草作業等業務	347千円
	旧鳥羽小学校敷地内樹木伐採等業務	389千円
	旧鳥羽幼稚園石垣除草作業	60千円
	旧鳥羽小学校校舎耐震工事にかかる技術指導業務	215千円
工事請負費	旧鳥羽小学校校舎耐震工事	4,688千円
	旧鳥羽小学校法面崩落防止工事	26,033千円
会費等負担金	三重県指定文化財等所有者連絡協議会	2千円
	志摩文化財調査保護委員協議会	15千円

文化財保存推進事業

補助金	文化活動奨励費	100千円
	海女文化を活かした賑わいづくり事業	3,000千円
	文化財保護事業費	146千円

交付先	文化財名	種別
答志文化保存会	九鬼嘉隆墓、岩屋山古墳	県（史跡）、市（史跡）
坂手町内会	坂手のアヤマ池	市（天然記念物）
桃取町内会	桃取のヤマトタチバナ	県（天然記念物）

○主な財源

使用料	行政財産使用料	906千円
国補助金	地方創生推進交付金	1,500千円
	国宝重要文化財等保存整備費補助金	3,248千円
繰入金	ふるさと創生基金繰入金	100千円
地方債	防災対策事業債	26,000千円
	過疎対策事業債	1,700千円

文化財調査事業	予算現額	3,592千円
	決算額	3,181千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 3,658千円

鳥羽藩主関係資料や鳥羽城絵図にかかる情報収集や坂手林昌寺所有の文書にかかる調査、国崎ノット正月の撮影・記録等、鳥羽の歴史を紐解く各種資料や行事等の調査を行いました。また、図書館において、2月に金胎寺史料の紹介展示を行いました。

○主な経費

委員報酬	文化財調査委員報酬	31千円
嘱託職員賃金等	文化財専門員（1名）	2,648千円
印刷製本費	図録「九鬼嘉隆」増刷	416千円

文化財収蔵展示施設運営管理費	予算現額	2,050千円
	決算額	2,050千円
	翌年度繰越額	0千円
まちづくりの目標	2-3【歴史文化】地域文化の奥深さをわかちあおう	(前年度決算額) 2,050千円

「鳥羽大庄屋かどや」について、かどや保存会への指定管理委託により、保守管理を行いました。また、手芸講座や茶道教室、コンサート等、地域の文化の享受の機会を広げるような企画が実施されました。総入館者数は7,149名となり、2年連続で7,000人を上回りました。

○主な経費

委託料	大庄屋かどや指定管理業務	2,050千円
-----	--------------	---------

(款) 9 教育費

(項) 5 社会教育費

(目) 7 博物館費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
10,342	10,171	999					9,172

事業区分		1 博物館管理費		10,171 千円	事項別明細書 P 182 ~
博物館運営事業				予算現額	10,342 千円
				決算額	10,171 千円
				翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	2-3【歴史文化】地域文化の奥深さをわかちあおう			(前年度決算額)	95,872 千円
<p>平成29年10月の市立化以降、2年目の運営を行いました。指定管理により、専門知識を有した学芸員を配備しつつ、プランクトンの紹介から海への関心を喚起する企画展やタコへの信仰を通じ、海辺の習俗を伝える特別展等を常設展示と合わせて催し、海に関する社会教育の場としての役割を果たしました。12月からは、「神島～つながり、つむぐ、海村のくらし」と題して、絵図や古文書などから、自然とともに生きてきた神島の暮らしを紹介しました。市民の皆さんや島出身の方々からも大きな反響をいただいたほか、地域外からの来訪者に地元の歴史や魅力を伝えることができました。</p> <p>ギャラリー棟では、イセエビ漁や海藻採取といった漁村の日常を切り取った写真展や海の生き物を描いたイラスト展等、海の魅力を視覚でとらえる企画を実施しました。</p> <p>このほか、磯に出たの生き物観察や、昔ながらのテンマ船を漕ぎだす体験、鳥羽の海の豊富な海藻のおしばをレジンで固めてストラップを作るクラフト体験等を実施し、子ども達が海を身近に感じられる機会を創出しました。</p> <p>本博物館の一部に設置されている「三重大学海女研究センター」では、本地域で撮影された古い海女写真等のデジタルアーカイブ化が進められ、画像や記録を元に時代背景を紐解く取組みが行われ、今後の博物館での発信拡充につながりました。また、三重大学の学生の協力を得て、海女の魅力をわかりやすく伝えていくためのガイド台本の基本案を作成することができました。</p> <p>指定管理業務以外では、地域での連携の中で、3月に本博物館を会場として、鳥羽市観光協会主催のデジタルアート企画「お絵かき水族館」が実施され、小さな子どもからシニア層まで幅広い年齢の方に来館いただく機会が拡充されました。高レベルのデジタル技術で自分が描いた絵が動く仕掛けは大きく好評を博し、会場となった博物館の集客を大きく後押しいただく結果となりました。最終的に平成30年度の有料入館者数は30,375人（対前年度比5.9%増）となりました。</p> <p>○主な経費</p> <p>報償費</p> <p>海の博物館運営協議会委員報償 155千円</p> <p>委託料</p> <p>海の博物館指定管理業務 7,754千円</p> <p>海の博物館展示改修設計業務 1,998千円</p> <p>土地借上料（博物館駐車場） 120千円</p> <p>○主な財源</p> <p>国庫補助金 地方創生推進交付金 999千円</p>					

(款) 9 教育費

(項) 6 保健体育費

(目) 1 保健体育総務費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
21,045	20,951						20,951

事業区分		1 保健体育給与等管理費	20,951 千円	事項別明細書 P 184 ~																					
保健体育総務業務			予算現額	21,045 千円																					
			決算額	20,951 千円																					
			翌年度繰越額	0 千円																					
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	17,972 千円																						
<p>三重県や南勢志摩管内の研修会に参加し、スポーツ推進委員の資質向上や県内他市との交流を図ったほか、スポーツ少年団や鳥羽市教育委員会が主催の事業に参加し、本市の地域スポーツの普及推進に努めました。</p> <p>○主な経費</p> <table border="0"> <tr> <td>委員報酬</td> <td>スポーツ推進委員報酬 (19名)</td> <td>441 千円</td> </tr> <tr> <td>職員人件費 (3名)</td> <td></td> <td>19,890 千円</td> </tr> <tr> <td>会費等負担金</td> <td>三重県体育協会</td> <td>56 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>三重県体育施設協会</td> <td>15 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>スポーツ推進委員協議会</td> <td>38 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>南勢志摩スポーツ推進委員協議会</td> <td>20 千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>東海四県スポーツ推進委員研究大会</td> <td>12 千円</td> </tr> </table>					委員報酬	スポーツ推進委員報酬 (19名)	441 千円	職員人件費 (3名)		19,890 千円	会費等負担金	三重県体育協会	56 千円		三重県体育施設協会	15 千円		スポーツ推進委員協議会	38 千円		南勢志摩スポーツ推進委員協議会	20 千円		東海四県スポーツ推進委員研究大会	12 千円
委員報酬	スポーツ推進委員報酬 (19名)	441 千円																							
職員人件費 (3名)		19,890 千円																							
会費等負担金	三重県体育協会	56 千円																							
	三重県体育施設協会	15 千円																							
	スポーツ推進委員協議会	38 千円																							
	南勢志摩スポーツ推進委員協議会	20 千円																							
	東海四県スポーツ推進委員研究大会	12 千円																							

(款) 9 教育費

(項) 6 保健体育費

(目) 2 保健体育振興費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
30,379	25,804				5,996	588	19,220

事業区分		1 生涯スポーツ振興事業	22,549 千円	事項別明細書 P 184 ~
生涯スポーツ振興事業			予算現額	15,949 千円
			決算額	15,429 千円
			翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	15,259 千円	
<p>学校法人日本体育大学と体育・スポーツ振興に関する協定を締結したことにより、レスリング競技において、オリンピックメダリストを派遣していただき、技術指導や実践練習を行うなど選手の育成・普及を行いました。</p> <p>また、コーディネーショントレーニングでは、小・中学校等で講師によるモデル授業を開催</p>				

生涯スポーツ振興事業

したほか、保育士や教諭、スポーツ推進委員を対象に指導者講習会を実施し、現場での実践方法を学ぶなど、指導者の育成を図りました。

項目	回数（回）	参加者延べ人数(人)
鳥羽志摩中学校相撲大会	1	49
鳥羽市小学校相撲大会	1	120
障がい者スポーツ教室	10	231
わくわく水泳教室	3	118
コーディネーショントレーニング	11	328
鳥羽市民大運動会	1	900

○主な経費

報償費	市民大運動会係員謝金等	653 千円
委託料	コーディネーショントレーニング普及啓発業務	875 千円
補助金	鳥羽市武道館管理事業	9,246 千円
	鳥羽市体育協会社会体育普及振興事業	1,610 千円
	鳥羽市スポーツ少年団事業	630 千円
	長岡スポーツ文化クラブ活動事業	300 千円
	美し国三重市町対抗駅伝鳥羽市選手団派遣事業	750 千円
	社会体育選手派遣事業	230 千円
	ジュニアスポーツ支援事業	1,000 千円

○主な財源

繰入金	ふるさと創生基金繰入金	2,234 千円
-----	-------------	----------

学校体育施設開放事業	予算現額	1,480 千円
	決算額	1,332 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 1,332 千円

学校体育施設を学校教育に支障のない範囲内で開放し、子ども達のスポーツ活動の推進、大人の余暇活動としてスポーツを楽しむ場の提供など、地域で日常的にスポーツ活動が行える環境を整え、市民の健康づくりや体力向上に努めました。

体育施設開放校数（校）	利用者延べ人数（人）
10	24,306

○主な経費

報償費	学校体育施設開放管理指導員	1,332 千円
-----	---------------	----------

市民体育大会事業	予算現額	321 千円
	決算額	263 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 285 千円

市民が広くスポーツに親しみ、技術の向上と健康増進を図るとともに、スポーツを通じた地域交流が豊かな市民生活を築くことを目的とした市民体育大会を開催し、市内外問わず多くの方が

市民体育大会事業

参加しました。また、総合開会式では、全国・東海大会等で優秀な成績を収めた選手に表彰を行い、その功績を讃えました。

市民体育大会		表彰	
競技数	参加者数(人)	選手(人)	チーム
16	1,006	30	0

○主な経費

報償費 市民体育大会運営謝金等 263 千円

TOBAウォーク事業	予算現額	985 千円
	決算額	774 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 772 千円

TOBAウォーク2018を答志島で開催しました。コースは桃取漁港をスタートし、鳥羽磯部漁協答志支所市場横をゴールに約7.5kmで実施しました。コース途中には海岸線や浜辺を通る箇所もあり、離島から眺める景色や働く人々との触れ合いなど、市民の健康増進とともに離島の魅力を知っていただく機会を提供できました。

また、TOBAウォーク事業は通算5年実施したことにより、ウォーキングの普及という点で一定のアピールができ、啓発・動機付けに繋がったため、平成30年度をもって廃止しました。

(単位：人)

参加者数	参加者数		
	事前申込	当日受付	欠席
266	308	9	51

○主な経費

報償費 大会運営係員謝金・参加賞等 319 千円

通信運搬費 参加者等定期船運賃 302 千円

○主な財源

繰入金 ふるさと創生基金繰入金 774 千円

国民体育大会準備事業	予算現額	6,226 千円
	決算額	4,751 千円
	翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額) 0 千円

円滑に競技を実施するため、実行委員会を組織したほか、国体の視察や鳥羽市で行われる競技であるフェンシングの普及事業を行いました。また、フェンシング競技会場等の配置計画や仮施設計画を作成するための基本設計業務等を行いました。

項目	回数(回)	参加者数(人)
みんなで教えてもらおう！ 太田雄貴さんに聞くフェンシングの魅力	1	150

国民体育大会準備事業	
○主な経費	
臨時職員賃金等	1,279 千円
普通旅費 国体等視察旅費	343 千円
設計測量等業務委託料	
国民体育大会競技会場等基本設計業務	432 千円
補助金	
三重とこわか国体鳥羽市推進事業	2,459 千円
○主な財源	
繰入金 ふるさと創生基金繰入金	2,988 千円

事業区分	2 学校体育活動事業	3,255 千円	事項別明細書 P 186 ~
学校体育振興事業		予算現額	5,418 千円
		決算額	3,255 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	3,679 千円
<p>小中学生のスポーツ活動の活性化や体力・競技力の向上、心身の健全な発達、コミュニケーション能力の向上を目的に、各種スポーツ大会へ参加する旅費の助成を行いました。また、学校水泳では小学生に泳力を習得させる事で、水の事故防止と体力の向上に繋がりました。</p>			
○主な経費			
会費等負担金	三重県中学校体育連盟		113 千円
補助金	鳥羽市小学校体育研究会運営事業		56 千円
	鳥羽市中学校体育連盟運営事業		280 千円
	小学校選手派遣事業		195 千円
	中学校選手派遣事業		2,429 千円
	学校水泳事業		182 千円

(款) 9 教育費

(項) 6 保健体育費

(目) 3 保健体育施設費

(単位：千円)

予算現額	決算額	財 源 内 訳					
		国庫支出金	県支出金	地方債	繰入金	その他	一般財源
63,935	54,929			32,600			22,329

事業区分	1 運動施設管理運営事業	54,929 千円	事項別明細書 P 186 ~
運動施設管理運営事業		予算現額	63,935 千円
		決算額	54,929 千円
		翌年度繰越額	0 千円
まちづくりの目標	1-1【人材育成】市民の郷土愛を育てよう	(前年度決算額)	24,117 千円

運動施設管理運営事業

鳥羽市中央公園運動施設を（公財）鳥羽市武道振興会に管理を委託し、施設の維持管理と利用促進事業に取り組んだほか、中央公園水泳プールの浄化装置が老朽化による不具合があったため修繕を行いました。

また、スポーツ環境の向上を図るため、市民体育館改修工事実施設計業務や市民体育館サブアリーナ増築工事実施設計業務を行いました。

【利用者数】

施設名	利用者数（人）
体育館	15,595
野球場	3,998
庭球場	1,372
多目的グラウンド	5,754
相撲場	575
水泳プール	5,619
合 計	32,913

【自主事業】

自主事業開催数（回）	参加者延べ数（人）
6	400

○主な経費

修繕料

鳥羽市民体育館污水处理施設ばっきブロワー取替工事	438 千円
中央公園水泳プール浄化装置修繕工事	1,145 千円

設計測量等業務委託料

鳥羽市民体育館改修工事実施設計業務	8,432 千円
鳥羽市民体育館サブアリーナ増築工事実施設計業務	24,221 千円

委託料

鳥羽市運動施設指定管理業務	20,029 千円
鳥羽中央公園テニスコート利用注意看板作成	36 千円

備品購入費

プール用ロッカー	114 千円
テニスコート用備品	122 千円

○主な財源

市債 運動施設整備事業債	32,600 千円
--------------	-----------